

福祉施設における相談員 & ケアマネージャー業務と役割分担

《山形会場 グループ討議レジュメ》

入所系グループ 相談員 4 名、ケアマネ 1 名

【検討課題】

相談員とケアマネ（或いは他職種）の役割分担が上手くできない

【検討内容】

- * 家族との連絡調整が面談など相談員とケアマネで独自に（重複して）行ってしまう事がある
- * 夜間の事故時も両方に介護職から報告が入っている
- * 聞き取りについても、両者がそれぞれ行っている状態

【考察】

- * 気付いた都度、業務を突き合わせながら少しずつ業務を分担していく
- * 情報を共有できる工夫も必要（送り時間を設ける、連絡帳を創る）

入所系グループ 相談員 3 名、ケアマネ 2 名

【検討課題】

SW・CMの業務分担はできているか。利用者や家族、他職種間で明確化が図られていない。

【検討内容】

- * 介護人員が不足している。SW・CM業務に集中できない。
- * 家族からの相談について、窓口はSWであるが、話の内容については、HS・CW・OT他職種へおとしていく必要がある
- * 他職種間での業務連携が大切（報告・連絡・相談）

入所系グループ 相談員 2 名、ケアマネ 2 名

【検討課題】

家族との関わりについて（相談・ケアマネそれぞれの立場で）

【検討内容】

- * ケアプラン説明や今後の方向性の相談など、どちらがどこまで踏み込んで話をしていたらいいのか分からない
- * ケースによって相談員・ケアマネそれぞれの立場で連絡を取り、相談している。
- * 医療面については看護師から直ぐ家族へ報告がいくが、ケアの部分の生活状況が家族へ

なかなか報告がいかない。介護職もその報告はケアマネが行なうものという意識を持っている。

* フロア職員からの報告についても、相談員なのかケアマネなのかハッキリ分からなく両者に報告するケースが目立つ。

入所系グループ 相談員 3 名、ケアマネ 2 名

【検討課題】

家族の意向と施設の限界について（歩かせてほしい・ずっと施設でみてほしい）

【検討内容】

* 家族としては「歩かせてほしい」との意向があるが、介護現場としては困難

* 会議を開催して家族の理解を求める

* 家族との話し合いが必要

通所系グループ 相談員 3 名、兼務 2 名

【検討課題】

相談員なのに相談員業務ができない（時間外でのサービス残業）

【検討内容】

* 仕事の内容に不満

介護職の仕事も全て手伝いしなければならない

行事などがあれば優先で手伝う

職員の人数が少なく介護の仕事が終わってから相談業務を行なう

介護職の人は早く帰れるが相談員は遅くまでかかる

小さい施設なので業務分担なく、行なわなければならない

緊急入所がある

* 相談員と介護職に上手く伝わらない

ノートを作りみんなでチェック

読んだらチェックを繰り返す

SSにはどうしても伝わりにくい（申送りノートを利用している）